

子ども・子育て支援対策調査特別委員会 報告資料

令和8年3月16日

報告事項件名	頁
1 足立区子ども・若者計画の策定に伴うパブリックコメントの実施結果及び 寄せられた意見に対する区の考え方について・・・・・・・・・・・・・・・・	2
2 児童・生徒が自由に意見や質問等ができる環境の整備について・・・・・・・・	4
3 令和8年度「高校生世代の居場所型学習支援事業」の拡充（案）について・・・	6
4 「モギ社会人1年目」の若者が企画した事業の実施結果について・・・・・・・・	7

(政策経営部)

子ども・子育て支援対策調査特別委員会報告資料

令和8年3月16日

件名	足立区子ども・若者計画の策定に伴うパブリックコメントの実施結果及び寄せられた意見に対する区の考え方について
所管部課名	あだち未来創造室 子どもの貧困対策・若年者支援課
内容	<p>足立区子ども・若者計画の案に対するパブリックコメントを実施した。については、実施結果及び寄せられた意見に対する区の考え方について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 パブリックコメントの実施結果</p> <p>(1) 募集期間 令和8年1月27日から令和8年2月26日まで</p> <p>(2) 意見提出件数 3件(2名) ※ 意見受付フォームにて提出</p> <p>(3) パブリックコメント実施の周知方法</p> <p>ア あだち広報1月25日号 イ A-メール、X(旧Twitter)、Facebook ウ C4th Home&School エ 区ホームページ オ 足立区こども計画審議会委員への個別周知</p> <p>2 提出された意見及び区の考え方</p> <p>(1) 意見の構成</p> <p>ア 学習環境について 1件 イ 若者支援について 1件 ウ 意識啓発について 1件</p> <p>(2) 意見の詳細及び区の考え方 別紙1のとおり</p> <p>3 今後の方針</p> <p>(1) 子ども・子育て支援対策調査特別委員会終了後、パブリックコメント実施結果及び区の考え方を区ホームページで公表するとともに、子どもの貧困対策・若年者支援課及び政策経営課窓口で閲覧及び配布を行う。</p> <p>(2) パブリックコメントで寄せられた意見を精査し、必要に応じて修正を加えたうえで、計画を策定する。</p> <p>(3) 令和8年4月に開催する子ども・子育て支援対策調査特別委員会に計画策定を報告する。</p>

未来へつなぐ あだちプロジェクト 足立区子ども・若者計画（案）に関するパブリックコメントの実施結果及び意見に対する区の考え方について

1 パブリックコメントの実施結果

- (1)実施期間 … 令和8年1月27日(火)から2月26日(木)
 (2)意見提出数… 2名から3件
 (3)提出手段 … 区のホームページの意見受付フォーム2名

2 主な意見

学習環境1件、若者支援1件、意識啓発1件

3 意見の概要と区の考え方

	内訳	意見概要	区の考え方
1	学習環境	MIMや学習支援ボランティア事業など、学力定着に向けた多層的な取組が体系的に整理されている点は評価する。一方で、学習支援ボランティアの具体的な活用方法については、学校や個々の活動者の裁量に委ねられている面も見受けられるため、活動目的や役割の明確化、基本的な支援方法や情報共有の仕組みの整理、研修機会の整備などにより、一定の質を担保しつつ、より効果的な運用を図ってほしい。	学習支援ボランティア事業は、ボランティアの方々の善意と自発的な熱意によって支えられています。現在、ボランティア活動を開始する際に、活動者に案内文を配布し、目的等を周知していますが、併せて4月の登録時にアンケートを実施し、どんな困り感があるかなどご意向を確認したうえで研修の実施の有無を含めて検討いたします。また、校長あての通知文書において、ボランティア活動の目的や役割等を改めて周知するとともに、各校の効果的なボランティア活動を全校に共有するなどし、教育委員会として学校間の格差が生じないよう尽力いたします。
2	若者支援	①若年者支援について 子どもの貧困対策を基盤としつつ、すべての子ども・若者へと対象を広げ、具体的なデータに基づいて施策を展開している点は評価する。とりわけ若年者支援に力を入れている点は意義が大きい。その上で、高校中退者や無業の若年者の把握が難しいという課題に対し、高校との連携をさらに強化し、中退前後の段階で必要な支援情報が確実に届く仕組みの充実を求める。また、SNS等による周知、学校等へのアウトリーチ、心理的負担を軽減する工夫など、若者の実態に即した支援手法の一層の展開を期待する。	高校生世代に対する情報発信について、子どもの貧困対策・若年者支援課では、区内の都立高校を定期的に訪問し、校長をはじめ、生徒との距離が近い教員や都のコースソーシャルワーカーに対して、区の各種若年者支援制度をご案内し、中途退学を検討している生徒に対し、必要な支援情報が確実に届くよう取り組んでおります。 一方で、中退後や無業の場合など、行政や学校、地域とつながりが少ない若者への情報伝達は大きな課題です。現在も、若年者支援情報をまとめ「若者サポートポータルサイト」として区ホームページに掲載しておりますが、今後も区のSNSでの発信を積極的に行うことに加えて、都立高校を始めとする学校関係者や、中退後や無業の若者を支援している地域団体と連携し、ご意見を伺いながら、「必要な若者に、確実に伝わる情報発信」に努めていきます。 また、区の委託事業として若者の悩みに寄り添い支援を行う「あだち若者サポートテラスSODA」を展開しているところですが、若者の悩みは複雑かつ多様化し、相談件数も年々増えています。今後も実態に即した支援ができるよう、地域や団体、企業などと連携して取り組んでいきます。
3	意識啓発	②「こどもまんなか」に向けた社会(区)全体の意識改革について 若者会議の実施など、子ども・若者を支援の対象にとどめず、社会をともにつくるパートナーとして位置付けている姿勢は評価する。今後は、行政内部にとどまらず、区民や関係機関を含めた社会全体に「こどもまんなか」の理念を広げるため、こどもの権利に関する普及啓発や研修の充実、「こどもまんなか応援サポーター制度」の活用検討など、具体的な意識醸成の取組を進めてほしい。	これまで「子どもの貧困対策」を進めるなかで、区職員や区民を対象とした研修や講演などを実施しながら「こどもまんなか社会」の理念を広げることに努めてきましたが、今回の「子ども・若者計画」の策定を契機に、さらに取り組んでいくべき課題と認識しています。 こども家庭庁が進める「こどもまんなか応援サポーター制度」の活用も含めて、今後も行政内部にとどまらず、地域全体で子どもや子育て世代を支える意識をさらに醸成するため、より具体的な事業を展開しながら、子どもや若者が安心して自分の考えを表明し、社会の一員として活躍できる環境づくりを進めてまいります。

子ども・子育て支援対策調査特別委員会報告資料

令和8年3月16日

件名	児童・生徒が自由に意見や質問等ができる環境の整備について
所管部課名	あだち未来創造室 子どもの貧困対策・若年者支援課 政策経営部 区民の声相談課
内容	<p>こども基本法等の趣旨を踏まえ、児童・生徒が自分の考えや気づいたこと、質問をいつでも区に伝えられる仕組みを整備し、令和8年4月から、「子ども版区民の声」として以下のとおり運用を開始する。</p> <p>1 開始日 令和8年4月22日（水）【予定】 ※校長会開催日</p> <p>2 対象 小・中学校の児童・生徒 ※ 高校生以上は一般の区民の声を利用</p> <p>3 受付・回答方法</p> <p>(1) 受付方法</p> <p>ア 児童・生徒用タブレットの「きかせて！みんなのこえ」（「きかせて！みんなのいけん」から名称変更）で常時受付</p> <p>イ 区民の声相談課で担当所管に割り振り（区民の声の扱いと同じ）</p> <p>(2) 回答方法</p> <p>ア 「区民の声」と同様個別回答</p> <p>イ 郵送、メール</p> <p>ウ 電話は質問等の内容確認や、宛先不明等の問い合わせとして活用し、原則電話での回答はしない</p> <p>※ 区民の声と異なる主なポイント 意見の内容や詳細を確認する場合を想定し「学校」「学年」を記入する項目を設定する。（意見等をしやすくするため、任意入力）</p> <p>4 環境整備の目的</p> <p>(1) こども基本法の理念に基づき、児童・生徒を権利の主体として意見表明の機会を拡充</p> <p>(2) 意見表明の経験を通して、社会の一員としての当事者意識と参加意欲を育み、気づき・行動変容のきっかけとする。</p> <p>(3) これまでの児童・生徒用タブレットを活用したテーマ型に加え、いつでも意見等を区に伝えられる仕組みを新たに導入することで、さらに意見等をしやすくする（手段の拡充であり件数の多さを目標としない）。</p>

5 児童・生徒への周知方法

- (1) 校長会を通じて、各学校に対し児童・生徒向けの周知を依頼する。
- (2) 児童・生徒用タブレットにおける投稿方法のフローを活用し、学校内で周知を行う。

6 今後のスケジュール（予定）

- (1) 4月上旬 : 校長役員会
- (2) 4月22日（水） : 校長会全体会

7 今後の方針

- (1) 意見等の件数や内容は、子ども・子育て支援対策調査特別委員会や庁議等で報告する。
- (2) 運用において課題が生じた場合は、関係所管と調整し改善していく。

【参考】環境整備にあたっての取組と検証

- (1) 令和7年5月にトライアルを実施
- (2) 投稿者数589人、質問数1,399件
- (3) 主な意見（参考）

街の美化・環境、公園、公共施設、交通など生活に身近な内容が中心

※ 学校に関する意見は原則対象外とした

- (4) 一括回答方式では回答までに時間を要してしまうことや、一問一答ではないため投稿者の達成感が得られにくいと判断し、一般の区民の声と同様の仕組みを新たに構築することとした。

子ども・子育て支援対策調査特別委員会報告資料

令和8年3月16日

件名	令和8年度「高校生世代の居場所型学習支援事業」の拡充（案）について														
所管部課名	あだち未来創造室 子どもの貧困対策・若年者支援課														
内容	<p>高校中途退学者の高等学校卒業程度認定試験対策や、授業についていけない高校生の補習等を行う「高校生世代の居場所型学習支援事業」を以下のとおり拡充する。</p> <p>1 拡充後の実施概要</p> <p>既開設中の梅島校の受け入れ人数を5名増員する。さらに、西部エリア（谷在家）に新たな拠点を設置し、3拠点体制で事業を展開していく。</p> <table border="1" data-bbox="456 790 1426 1043"> <thead> <tr> <th>会場</th> <th>定員</th> <th>開館時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>綾瀬校</td> <td>20名</td> <td>毎週月曜日</td> </tr> <tr> <td>梅島校</td> <td>35名（5名増員）</td> <td rowspan="2">午後1時～午後8時 （祝日等は除く）※</td> </tr> <tr> <td>谷在家校</td> <td>20名（新規開設）</td> </tr> <tr> <td>3会場の合計</td> <td>75名（令和7年度比 定員25名増）</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 3拠点とも、生活支援推進課が実施している居場所を兼ねた学習支援事業の拠点を利用する。</p> <p>2 拡充に至った背景</p> <p>(1) 令和5年度に綾瀬・梅島の2拠点で事業を開始。その後、徐々に利用者が増え、令和7年度に新規利用者の受け入れができない状況（定員を超える利用希望人数）となった。</p> <p>(2) 区内都立高校等の関係機関へのヒアリングや「アダチ若者会議」を通じて、若者の居場所に関する意見を聴いたところ、若年者の居場所のさらなる設置を求める声が多く寄せられ、「高校生世代の居場所型学習支援事業」の拡充が必要と判断した。</p> <p>3 今後の予定</p> <p>(1) 当初予算案が可決された場合に、当事業を実施する予定。</p> <p>(2) 区内都立高校への訪問による事業の詳細説明のほか、あだち広報、SNSなどを通じて、周知を行っていく。</p> <p>(3) 3拠点の利用状況を見ながら、さらなる拡充の必要性を検討していく。</p>	会場	定員	開館時間	綾瀬校	20名	毎週月曜日	梅島校	35名（5名増員）	午後1時～午後8時 （祝日等は除く）※	谷在家校	20名（新規開設）	3会場の合計	75名（令和7年度比 定員25名増）	
会場	定員	開館時間													
綾瀬校	20名	毎週月曜日													
梅島校	35名（5名増員）	午後1時～午後8時 （祝日等は除く）※													
谷在家校	20名（新規開設）														
3会場の合計	75名（令和7年度比 定員25名増）														

子ども・子育て支援対策調査特別委員会報告資料

令和8年3月16日

件名	「モギ社会人1年目」の若者が企画した事業の実施結果について
所管部課名	あだち未来創造室 子どもの貧困対策・若年者支援課
内容	<p>社会人先取り体験プロジェクト「モギ社会人1年目」において、参加した若者が、(株)セブン-イレブン・ジャパンとともに企画した事業の実施結果について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 若者が企画した事業について</p> <p>(1) 事業名 #ワカモノ健康モチベ高め隊プロジェクト</p> <p>(2) 目的 健康への取り組みをしていない若者に対し、健康を意識する機会を提供し、行動変容のきっかけをつくる。</p> <p>(3) 企画内容 ア セブン-イレブンの商品を使用した健康アレンジレシピを考案 イ 人気投票企画として、SNSやまちなかイベントで若者にPR ウ 投票企画に併せて、健康意識に関するアンケートを実施 エ セブン-イレブンの商品化(期間限定商品の販売) 企画立案や事業提案などに協力いただいた(株)セブン-イレブン・ジャパンが若者の思いを受け止め、考案したアイデアの一つ「魔女スープ」が商品化された。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   <div style="text-align: right;"> <p>足立区のHPの特集ページにて「魔女スープ」誕生ストーリーを公開</p>  </div> </div> <p>(4) 実施結果の詳細 ア SNS (26回・若者が制作した写真・動画を活用)・区ホームページの特集ページ・あだち広報(2/10号)などで若者へPR ※ セブン-イレブンの公式Xでも投稿 (4回で、表示回数約177.3万回) イ まちなかイベントの実施(1/31) (ア) 会場 北千住東口電大通りバスロータリー付近 (イ) イベント内容 人気投票、ベジチェックなどの健康チェック、セブン-イレブンなどの商品が当たる抽選会 (ウ) 来場者数 480名</p>

(エ) 来場者の声 (当日の会場での意見)

①	今日から健康を意識して生活しようと思います。
②	セブン・イレブンの商品を使ったコラボがとても面白いと思った。
③	足立区からよりよい人材が生まれるこのような取り組みに、ぜひ今後も力を入れてほしいと思います。



ウ 健康意識に関するアンケート (1/21~2/20) 【詳細は別紙参照】

※ まちなかイベント会場での参加者分を含む

(ア) 回答数 10~30代の若者 276件 (全体は 683件)

若者が主体的に企画・事業実施したことで、同世代の若者から多くの回答を得ることができたと考える (若者の割合 40.4%)。

(イ) 概要 (結果は衛生部と共有)

ふだん健康を意識した取り組みをしていますか？	若者の回答	全体の回答
① している	26.4%	24.2%
② どちらかといえばしている	46.0%	46.3%
③ ほとんどしていない	23.6%	22.3%
④ していない	4.0%	2.3%



取り組みをしていない理由 (複数回答)			
① 忙しくて時間がない	28%	② 続けられなさそう	19%
③ 運動が苦手	18%	④ 何から始めればいいのか分からない	14%

2 「モギ社会人1年目」企画の感想

あだち未来創造課として参加した若者の感想	
①	この企画を通じて、区民と距離の近い公務員の仕事の魅力を実感し、公務員を目指そうと思うきっかけになりました。
②	企画立案の会議を実際に体験できたことが一番印象に残りました。自分の意見を出し合いながら形にしていくプロセスを間近で感じることができ、個人的にとっても刺激的な体験でした。
③	社会人になる前にこのような経験ができたことで、将来について考える意識が高まったと思います。

3 今後の予定

参加した若者の満足度が高く、かつ企業連携により当初想定以上の企画が実現した。今年度の成果や課題を整理し、新たな企業連携も含めて次年度に向けて検討・調整していく。



「モギ社会人1年目」企画

若者考案健康レシピ人気投票および
健康意識に関するアンケート結果

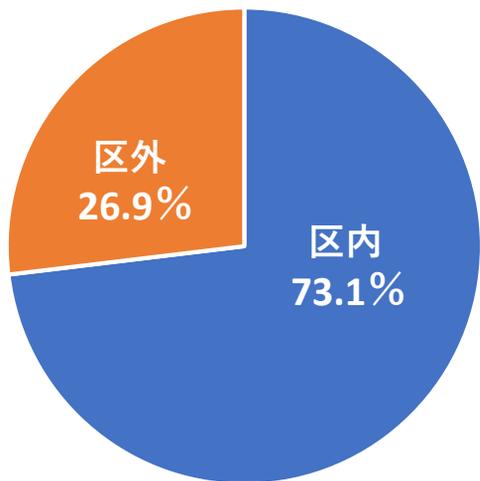
実施期間

令和8年1月21日～2月20日

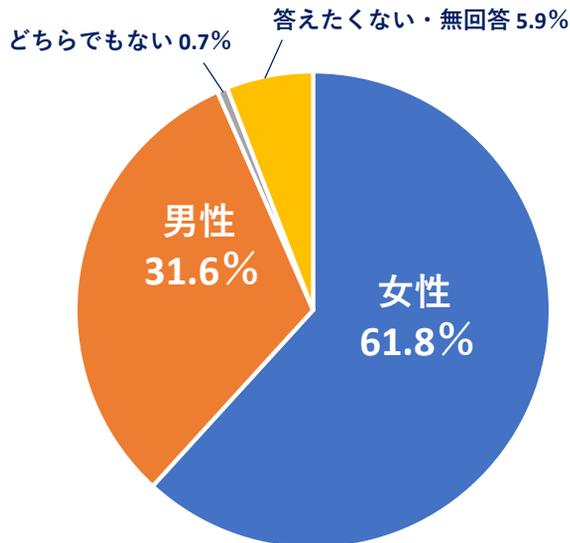
回答件数

683件

1 居住地



2 性別



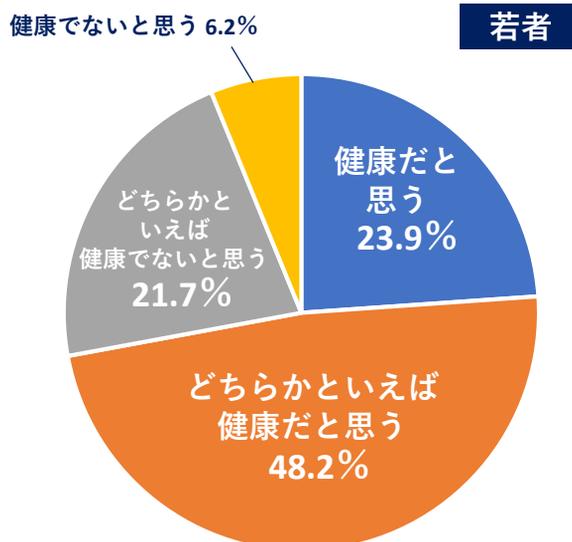
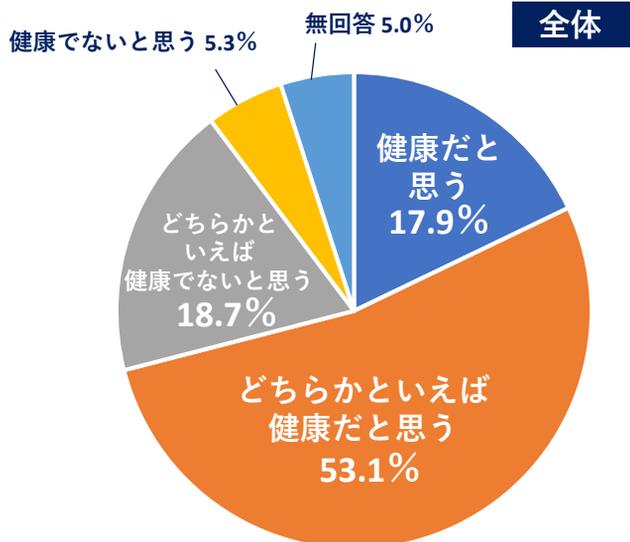
3 年代

~10代	6.7%	} 40.4%
20代	14.5%	
30代	19.2%	
40代	18.6%	
50代	17.7%	
60代	12.0%	
70代~	6.3%	
無回答	5.0%	

4 属性

小学生	2.2%
中学生	0.6%
高校生	2.0%
専門学生	0.3%
大学生	4.0%
社会人	61.2%
無職	14.9%
その他	7.2%
答えたくない・無回答	7.6%

5 自分が健康だと思いますか？



全体・若者ともに「健康」「どちらかといえば健康」と回答した割合が高かった

若者が考案した健康レシピの中から、「やってみたい」と思うものを3つ選んでください

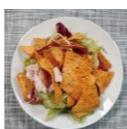
第1位

野菜マシマシミネストローネ



第2位

タコス風トルティーヤチップスサラダ



第3位

きなこもちスナック



第4位

ごま香るサバポテサラ



第5位

鶏むね肉と梅のサラダ



第5位

サラダチキンバーの生春巻き風



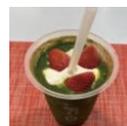
第7位

ネバネバ強化ご飯卵黄トッピング



第8位

スムージーで輝くわたし！



第9位

魔女ごはん



第10位

レンジ肉野菜ドン



第11位

丸ごとドボン！爆速茶漬け



第12位

タンパク質たっぷりおかゆポウル



第13位

腸活ランチ



第14位

正月太りリセット和食セット



第15位

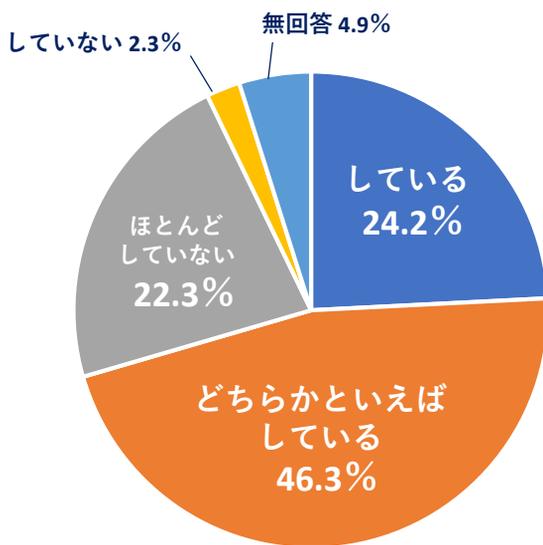
筋肉強化おやつ



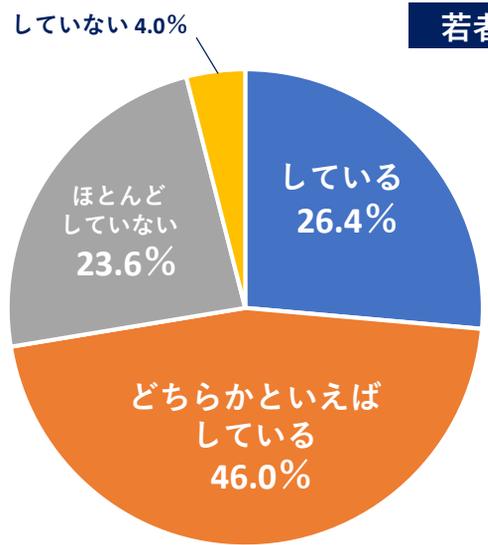
若者が考案した健康レシピを見て、今後「やってみよう」と思いましたか？

とても思う	32.5%
思う	58.0%
あまり思わない	4.0%
思わない	0.6%
無回答	4.9%

8 ふだん健康を意識した取り組みをしていますか？



全体



若者

全体・若者ともに「している」「どちらかといえばしている」と回答した割合が高かった

している or どちらかといえばしていると回答した方に聞きます。具体的にどのような取り組みをしていますか？
(複数選択可)

全体

① 野菜を意識して食べている	337件
② 朝食を毎日とっている	279件
③ 睡眠をしっかり取るようにしている	177件
4 規則正しい生活リズムを心がけている	165件
5 夜遅い時間の食事を控えている	161件
6 ウォーキングや散歩をしている	153件
7 1日30分程度、体を動かしている	122件
8 ストレスをためないよう工夫している	105件
9 糖質・脂質を控えている	94件
10 その他	15件

若者

① 野菜を意識して食べている	129件
② 朝食を毎日とっている	114件
③ 睡眠をしっかり取るようにしている	76件
4 規則正しい生活リズムを心がけている	67件
5 ウォーキングや散歩をしている	63件
6 夜遅い時間の食事を控えている	61件
7 1日30分程度、体を動かしている	51件
8 ストレスをためないよう工夫している	37件
9 糖質・脂質を控えている	35件
10 その他	3件

ほとんどしていない or していないと回答した方に聞きます。取り組みをしていない理由についてあてはまるものを教えてください (複数選択可)

全体

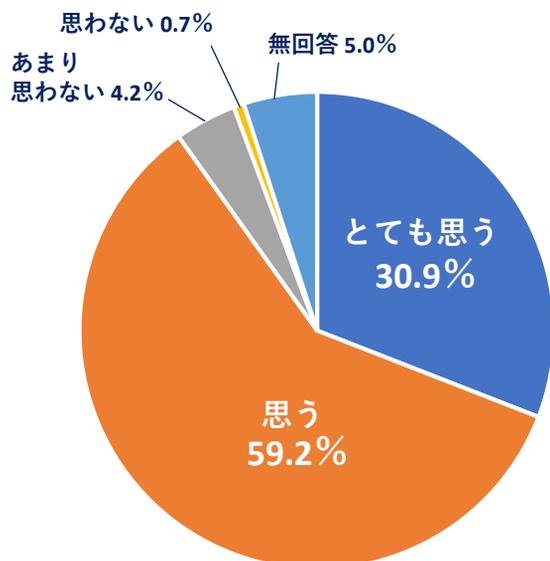
① 忙しくて時間がない	82件
② 続けられなさそう	68件
③ 運動が苦手	64件
4 何から始めればいいのか分からない	56件
5 お金がない	32件
6 体調や気分の問題で難しい	30件
7 必要性を感じていない	7件
8 その他	1件

若者

① 忙しくて時間がない	49件
② 続けられなさそう	33件
③ 運動が苦手	32件
4 何から始めればいいのか分からない	24件
5 お金がない	18件
6 体調や気分の問題で難しい	12件
7 必要性を感じていない	4件
8 その他	1件

「モギ社会人1年目」企画では、「やってみたくなる」「手軽でお手頃に実践できる」健康の取り組みを若者が考えてきました。この企画をきっかけに、今後、健康を意識し、食事だけでなく、運動や生活習慣などにも取り組んでみようと思いましたか？

全体



若者

